

# 吹田市市税審議会 会議録

## 1 日時・場所

平成23年(2011年)11月11日(金) 14時00分～16時00分  
吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

## 2 出席者

(委員) 生野会長 大川副会長 山本委員 柿原委員 橋本委員 矢野委員  
榎内委員 藤田委員 友田委員 井川委員  
(欠席者) 鶴田委員 松本委員 田中委員

(理事者) 富田副市長 岡本財務部長 平野政策推進部長 西山産業労働にぎわい部長  
寶田都市整備部長 乾財務部次長 美馬総括参事(政策推進室) 江原総括  
参事(産業にぎわい創造室) 山本東部拠点整備室長 堀税務室長 野口総  
括参事(資産税課長事務取扱) 杉総括参事(市民税課長事務取扱) 橋本  
総括参事(納税課長事務取扱) 牛尾税制課長 小林参事(資産税課) 當  
参事(納税課) 高田税制課長代理 田中市民税課主幹 曾谷市民税課主幹

(事務局) 後藤参事(税制課) 樋上税制課主幹 河上税制課係員

## 3 傍聴者 なし

## 4 配布物

### (1) 追加資料

- (ア) 追加資料4 全法人の業種別社数(均等割区分)
- (イ) 追加資料5 全法人の業種別均等割額
- (ウ) 追加資料6 全法人の業種別社数(法人税割区分)
- (エ) 追加資料7 全法人の業種別法人税割額
- (オ) 追加資料8 全法人の業種別法人税割額  
(1000万円超～1億5000万円以下の法人税率を14.7%とした場合の試算)
- (カ) 追加資料9 法人税割額変更前後での差額
- (キ) 追加資料10 市税及び法人市民税(法人税割・均等割)収入の推移と見込み

### (2) 吹田市税審議会へのご意見(鶴田委員)

### (3) 前回の会議録

## 5 会議内容(発言要旨)

法人の均等割の税率及び法人税割の課税の特例の変更に係る諮問について  
前回からの継続審議。質疑はなく、討論となった。

(委員) 吹田市の財政状況の見通しは、中長期的には厳しく、改善が必要だと  
認識しています。しかし、均等割は赤字の企業にも課税されるため、諮問  
原案には反対です。一方、法人税割は利益の出ている企業に負担を求める  
ものであり、損金繰越の制度もあることから、許容できると思います。

(委員) 均等割は赤字法人にも負担を強いるから反対します。しかし、法人税  
割は、どこで線引きを行うかという難しい問題は残るものの、資本金等の

額が1千万円以下の法人への配慮もあるので、経済状況が厳しい中ではありますが、許される範囲だと思います。

(委員) 市の歳出をこれ以上切り詰められないところまで切り詰めてから提案すべきだと思います。市も大変かもしれませんが、企業も六重苦と言われる中で、利益を出そうと必死に頑張っているところです。雇用にも影響を与えていると思います。

(委員) 法人市民税の増税により歳入を増やすこと、また、扶助費の削減により歳出を減らすこと、両方市民の痛みを伴います。まずは、行政内部の改革をして欲しいと思います。

(委員) 吹田市の福祉レベルの高さは誇るべきだと考えています。福祉施策が充実することで、人口の流入を促すと思います。

(委員) 様々な意見があり、このままでは結論が出ないと思います。税率を上げることによる企業への影響を少なくするため、原案を修正することも手段の一つだと思います。

(委員) 中小企業に与える影響を考慮すると賛成し難いと思っていますが、みなさんの意見を聞いていると、原案を見直すことも検討の余地があると考えています。

(委員) 財政非常事態でなくなったら、税率を元に戻すのですか。

(理事者) 時限的なものとは考えていません。

(委員) 均等割の増税はするべきではないと思います。また、法人税割は、資本金等の規模と利益との相関関係が不明であること、及び業種により税額に差があることから、何が適切なのか判断しかねます。もっとも、中小企業に影響を与えることを考えると、今の時期は難しいと思います。

## 採 決

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| ①原案どおり承認することに対して      | 賛成0 反対9 |
| ②審議会として修正案を作成することに対して | 賛成3 反対6 |

## 結 論

原案どおり認めることはできないとの答申をすることとなりました。

以上